

平成 2 9 年  
第 4 回 (12 月) 波佐見町議会定例会

町政に対する一般質問

波佐見町議会

通告順位	1	通 告 者	1 番 城 後 光 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 教育行政について</p> <p>(1) 新教育長は、これまでどのような学校勤務に携わり、子どもに対する教育環境の課題をどう感じているか。</p> <p>(2) 町内の小学校・中学校の現状分析及び、対処すべき課題、将来への展望をどう捉えているか。</p> <p>(3) 社会教育分野について、どのように取り組むのか。</p> <p>2. 少子化対策について</p> <p>少子高齢化の進展は、地域の活力や財政等、町全体に影響を与える重要な問題である。</p> <p>加えて、本町への移住定住をさらに促すためにも、子育て環境支援には町を挙げて取り組むべきである。</p> <p>(1) 妊婦に対する検診補助、妊婦教室や経済的支援などの相談窓口、出産後ケアなど、子どもを授かった方への支援体制に課題はないか。</p> <p>(2) 要保護・準要保護といった経済的枠組みで計れない子どもの貧困対策を行っていく考えはないか。</p> <p>(3) 移住定住を希望する子育て家族向けの経済的な支援を行う考えはないか。</p> <p>3. 有害鳥獣駆除について</p> <p>有害鳥獣被害防止事業における昨年度のイノシシの捕獲頭数は、854頭で増加傾向にある。</p> <p>また、アナグマやアライグマなどの捕獲数も年々増えている。</p> <p>一方、鳥獣駆除を担う猟友会会員の高齢化も顕著であり、有害鳥獣から農地を保護するためにも、新しい担い手を増やしていくことが求められる。</p> <p>(1) 新しい猟友会会員の確保に向けた対策は考えているのか。</p> <p>(2) 食肉加工施設への支援など捕獲動物の商品化に向けた取り組みがあるのか。</p> <p>(3) 老朽化したワイヤーメッシュ柵に代わる田畑の防御対策を行うべきではないのか。</p>		

通告順位	2	通 告 者	1 2 番 堀 池 主 男 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 職員の勤務体制と手当について</p> <p>(1) 各課によって残業時間に差があるが、一番多い職員と一番少ない職員は、何時間か。</p> <p>また、多い職員の身体、ストレスなどの健康管理はどうしているか。</p> <p>(2) 時間外勤務手当と勤勉手当の基準はどうなっているか。</p> <p>(3) ノー残業デーは、一週間に水曜日、金曜日と決まっていると聞くが守られているか。</p> <p>(4) 平成29年度(4月1日)の職員配置後の勤務体制に問題はないか。</p> <p>2. 環境美化について</p> <p>(1) 町内各自治会で実施している一斉清掃で、溝等の土砂の捨て場所は把握しているか。</p> <p>(2) 各自治会の環境保全活動の支援として、農林課の「農地・水・環境保全向上対策交付金」でなされていたが、現在は、住民福祉課の「環境美化推進事業委託料」で対応されている。</p> <p>対象となる活動の内容はどうなっているか。</p> <p>(3) 町有地の旧金山土捨場の現状はどうなっているか。</p> <p>完了しているなら、土砂等や陶磁器製造過程で鑄込や生地から出る廃粘土、石膏の処分所の計画はあるのか。</p> <p>3. 児童・生徒の通学、下校時の安全対策について</p> <p>(1) 県道、町道の危険箇所や工事箇所の把握をされているか。</p> <p>また、歩道を自転車通行可の箇所はあるのか。</p> <p>(2) 中学生の自転車利用者の申請や条件、許可を受けた生徒は何人か。</p> <p>安全教育や指導等はどうなっているか。</p> <p>(3) 最近、自転車事故等は無かったか。</p> <p>また、保険の加入率はどうなっているか。</p>		

通告順位	3	通 告 者	8 番 石 峰 実 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 役場庁舎建設計画について</p> <p>役場庁舎建設計画を進めるにあたっては、外部有識者からなる建設検討委員会に委ねられ、諸々の観点から議論し検討が行われているが、計画進展に係る諸問題について考えを問う。</p> <p>(1) 10月の公共施設等調査特別委員会で、諮問の趣旨等含め検討委員会の経過や現庁舎の耐震状況について説明・報告を受けたが、まず建設着手の目途が示されていないが基金等の状況からしていつ頃を想定しているのか。</p> <p>(2) また、基金に直接建設費の約6割程度を積み立て、建設に着手する意向もあるようだが、国等の財政支援の状況によっては前倒しして計画を推進することもあり得るのか。</p> <p>(3) 新庁舎の建設計画推進とともに現庁舎は町の中核機能維持のために重要な施設である。</p> <p>予測しがたい地震や風水害等あらゆる災害から守り抜く必要があり、耐震補強工事等を実施して町民の行政機能維持に対する安心・安全を保持すべきではないのか。</p> <p>2. 全国棚田サミット終了と中山間地農業の振興策について</p> <p>(1) 9月に開催された全国棚田サミットには全国から644人の関係者が参加して盛大に開催され高い評価と好評のうちに終了した。</p> <p>地元鬼木地区をはじめ関係者のご苦労と感慨もひとしおであったと思う。</p> <p>サミットも盛会の内に終了したとされたが、このサミットに取り組む中でどのような感想を持たれたのか。</p> <p>また、今回の開催で得た成果や課題、そして町内全体としての評価はどんなことがあげられるか。</p> <p>(2) 町内にも大小の棚田があり、そこで農業を営む中山間地農業者等はサミットにどんな関わりを持たれたのか。</p> <p>全国棚田サミットの成果とともに、これからの中山間地域農業の活性化や生産性・所得向上を図るための振興策にどうつなげていく考えか。</p>		

通告順位	4	通 告 者	7 番 中 尾 尊 行 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 中学校の部活動について  運動部活動の在り方に関するガイドラインを作成するため、スポーツ庁で有識者会議が始まったと聞く。  これは、現在の部活動の現場で、従来の在り方では解決できない問題が起こっていることや、あるいは、起こりつつあることを示しているのではないか。  活動時間の短縮などを含めた今後の対策をどのように行うのか。</p> <p>2. 小学校の英語教育について  小学校において英語の授業が始まった場合、授業時間の確保等の問題が起こることが想定される。  (1) 現在の授業時間に変更があるのか。  (2) 英語専門の教員の採用等もあるのか。</p>		

通告順位	5	通 告 者	5 番 脇 坂 正 孝 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 町道橋梁の整備計画について</p> <p>町道西前寺線の道路部分は、改良工事がすでに完了し、町道八島田ノ頭線も道路部分の改良工事が進んでいる。</p> <p>一部未完ではあるが、両線とも道路部分は2車線で、歩道併設の規格が高い道路である。</p> <p>しかし、橋梁部分が狭いため次のような懸案事項が考えられる。橋梁は今後どう整備されるか。</p> <p>(1) 道路部分に比べ、橋梁の幅が狭く、また歩道もないため、特に歩行者の交通事故が心配される。</p> <p>両橋梁とも、ウォーキングやランニングのコースで、歩行者も多く安全対策が急務である。</p> <p>(2) 現在、西前寺線は道路部分が改良済みでも、大型車の通行はできない。橋梁部分がネックと思われる。八島田ノ頭線の道路部分の改良工事が完工しても同様である。</p> <p>大型車の通行制限は、安全対策としては効果があると思うが、経済的には損失であると思うがどうか。</p> <p>2. 社会教育主事の配置について</p> <p>現在、教育委員会社会教育係には、社会教育主事の有資格者は配置されていないと聞く。</p> <p>生涯学習・社会教育の重要性が高まる今日、必置制度である社会教育主事を是非配置すべきであると思うがどうか。</p> <p>3. 職員の町政への提案について</p> <p>「職員の提案規程」が定められているが、過去3年間の職員からの提案件数及びその提案の採用状況はどうか。事務能率の向上、町政の活性化、職員の達成感を醸成する等、メリットも多いと考える。</p> <p>職員提案の充実を図るべきだと思うがどうか。</p>		

通告順位	6	通 告 者	4 番 北 村 清 美 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 人口減少社会におけるまちづくりについて</p> <p>(1) 各地区の防犯灯及び公民館のLED化は地域振興補助金などで普及しているが、町（防犯灯）、庁舎、学校、町所有の建物などのLED化はどれぐらい行われているのか。</p> <p>また、普及率が低ければ、今後、段階的に予算化すべきではないか。</p> <p>(2) 今後、自治会の財源不足が予想されるが、自治振興補助金や地域振興補助金の率等のアップは考えられないか。</p> <p>(3) 道路維持、改良費は過去最低の予算であるが、このままだと新規事業は完成まで20年以上費やされる。その対策はどのように行うのか。</p> <p>(4) 自治会の運営費の負担が重くなるため、町の消防分団運営費補助金の復活は考えられないか。</p> <p>(5) 将来の本町のあり方について、戦略策定や戦略にのっとった事業の効果検証を行う「まち・ひと・しごと創生推進協議会」は年、何回開催するのか。</p> <p>また、その効果検証が行政に反映されるのか。</p> <p>(6) 32年度までに有線放送の戸別受信機の採用を検討されているが、どのくらいの予算が必要か。</p> <p>また、それまで設備改修費はどうなるのか。</p> <p>2. ウォーキングイベントについて</p> <p>秋に実施されている「JR九州ウォーキング」のような企画を春にも開催できないか。</p>		

通告順位	7	通 告 者	6 番 百 武 辰 美 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 西九州させぼ広域都市圏協議会について</p> <p>5月17日に初会合が行われた「西九州北部地域（仮称）連携中枢都市圏協議会」は、11月には「西九州させぼ広域都市圏協議会」と名称変更が決定された。</p> <p>今後、自治体連携を進めていくうえでは非常に重要な協議会と思われるが、現在の進捗状況と、今後のスケジュールは。</p> <p>2. 役場庁舎の施設の現状について</p> <p>(1) 喫煙所については、庁舎北側の水道倉庫の横に設置されている。</p> <p>分煙は守られてはいるが、屋外であり特に冬場は北風が冷たく、来庁者の方も寒そうに利用されている現状である。</p> <p>使用する方の利便性・快適性を考え、喫煙所を整備すべきだと思いが、いかがか。</p> <p>(2) 職員が利用する休憩施設の現状は。</p> <p>(3) その他、改善が急がれる施設等はないか。</p>		



通告順位	8	通 告 者	10番 川 田 保 則 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 地域防災計画について</p> <p>世界有数の地震国である日本には陸地の約4,400ヶ所、近海の約220ヶ所に地震計が設置されている。</p> <p>その多くを通信回線で結び、地震や津波の情報をいち早く伝えるシステムが稼働すると報道された。</p> <p>気象庁は、静岡県沖の駿河湾から九州沖にかけて約700キロメートルに及ぶ海底の溝で100年～200年おきに発生が予想されるマグニチュード9級クラスの南海トラフ巨大地震の発生を示している。</p> <p>私達の町ではこんな大きな地震は到底予想されない規模だと思う。</p> <p>「災害は忘れたころにやって来る」とも言われるように、突然、大きなゲリラ豪雨がやってこないとも限らない。</p> <p>「備えあれば憂いなし」のように、安全・安心な町にするために備えなければならない。</p> <p>そこで、以下のことを質問する。</p> <p>(1) 自主防災組織の整備計画について</p> <p>(2) 「災害時の相互応援に関する協定」について、町がどこまで携わっているのか。また、災害時の相互応援に関しての協定書であるが、交通手段は万全か。</p> <p>2. 水道事業について</p> <p>市町村が運営する水道事業は、人口減少に伴い需要が縮小し、加えて設備の老朽化でこのままでは水道事業が維持できない。</p> <p>今後30年で水道料金は1.6倍以上の引き上げが避けられないとの試算が出された。</p> <p>今後は、近隣の自治体同士がコスト削減し統合・広域的な連携が必要となると思われる。</p> <p>水道事業の広域化、合併及び民営化は考えられないか。</p>		

通告順位	9	通 告 者	9 番 尾 上 和 孝 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 福祉行政について</p> <p>近年、引きこもりや認知症が社会問題となっているが、現状では個人情報の「壁」にぶつかり把握するのが難しいと言われている。</p> <p>(1) 県内の15歳から24歳の若者で引きこもりとされる人は約5,600人とみられている。</p> <p>本町において全体の把握はされているか。</p> <p>また、何か対策を行っているか。</p> <p>(2) 認知症については、要介護認定者でランクIからランクMまで約740人おられる。</p> <p>本町では家族会・認知症カフェ・認知症サポーター養成講座・オレンジ広場等、数々の対応をなされているが課題はあるか。</p> <p>今後、認知症の方が徘徊の折に位置確認ができるGPS機能がある端末購入費の助成や、町で購入し貸し出す等の対応ができないか。</p> <p>2. 「日本磁器のふるさと 肥前 ～百花繚乱のやきもの散歩～」について</p> <p>「日本磁器のふるさと 肥前」が文化庁から日本遺産に認定された。</p> <p>(1) 認定後はどのような効果があったのか。</p> <p>(2) 肥前窯業圏の取り組みについては、活性化推進協議会を中心に進めているが、どのような状況か。</p>		

通告順位	10	通 告 者	3 番 三 石 孝 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 公営住宅行政について</p> <p>波佐見町の町営住宅は10ヶ所53棟314戸存在し、入居率は約95%を上回る状況であるが、入居資格及び退去時の対応について次の点を問う。</p> <p>(1) 入居条件で、独身者の年齢制限がとられているが、緩和できないか。</p> <p>また、火災や災害など、その他緊急時の住宅困窮者のために、いくらかの住宅確保はできないか。</p> <p>(2) 退去時のリフォームはどの部分を行い、業者選定はどのように行っているか。</p> <p>2. 農業振興地域とその環境整備保全について</p> <p>農業振興地域における農地が、進出企業の工場や既に開発行為によって創業されている工場との関係で、農地やため池等が下部に位置した場合は、環境的に決してよいものとは言い難い。</p> <p>そこで、農業や農地を守る観点から、昨年12月の一般質問で答弁があった件について問う。</p> <p>(1) 立地の関係で農業（農地のため池）に影響を及ぼしそうな工場等の状況について、その後の調査状況はどうか。</p> <p>(2) 農地の環境保全対策としての環境保全（公害防止）条例の制定について、その後の協議内容はどうか。</p> <p>(3) ニシケン工業との環境保全協定書の履行について、その後どのような内容で如何なる指導を行ったか。また、成果はどうか。</p> <p>3. 教育行政について</p> <p>少子化時代とはいえ現代の子どもたちは、学校・家庭・社会等、多種多様な複雑な状況下で精一杯成長している。そのような中で、いじめ、非行、不登校等は、学校教育と深い関係があり、児童・生徒の心のケアには十分な配慮と対応が必要である。</p> <p>現在取り組まれているスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの業務は重要であり、児童・生徒・保護者のより所となっている。</p> <p>しかし、業務の特殊性から相談時間の制約があり、十分な指導などを受けられない状況が発生していると聞く。</p> <p>このような問題を解決するために、今後どのような対応をとるのかを問う。</p>		